

＜プロジェクトが始まりました！＞2019年6月に2名の長期専門家が着任し、プロジェクトがスタートしました。生産、加工、流通、販売の各段階を通じて農産品の価値を最大化し、その中でも特に小規模生産者への利益還元を目指すインクルーシブ・フードバリューチェーン(FVC)振興に取り組みます。



C/P(サンタクルス県生産開発局)とプロジェクトの具体的な進め方を議論していきます。生産者から小売業者までのFVC関係者やNGO、教育研究機関が参加するプラットフォームを形成し、お互いの持つ情報交換を密に行うことを通して、それぞれのニーズや課題、それに対する解決策を関係者同士で補完しあえる関係の構築を目指します。

9月16日に第一回JCCが開催され、プロジェクト実施方針が承認されました。また、プロジェクト略称がスペイン語プロジェクト名”Proyecto para la Promoción de la Cadena Inclusiva de Valor Alimentaria en Santa Cruz”の頭文字をとってPROCIVA-SCZとなりました。

＜プロジェクトサイトを視察しました＞着任後初めてプロジェクトサイトを訪問しました。対象となるリンゴ、モモ、蜂蜜・養蜂由来製品、減農薬野菜の4作目の生産者圃場視察のほか、既存の市場、集荷場を視察し、基礎情報収集を行いました。



既存市場では減農薬・有機栽培が慣行栽培と差別されず、同じ価格で売られています。これらの野菜がより高く売れるマーケット開拓が必要です。

蜂蜜は、生産者自身によって石鹸やシャンプー、キャンディーなどに加工されています。パッケージやプロモーションに工夫の余地がありそうです。

プロジェクトサイトには県の支援により整備された農産物集荷場がありますが、十分に機能していません。集出荷の効率化も課題です。

＜対象者説明会を開催しました＞プロジェクト対象者であるサンタクルス県マヌエル・マリア・カバジェーロ郡、バジェグランデ郡、フロリダ郡の3郡11市の生産者団体、自治体関係者等に対してプロジェクト概要の説明会を行いました。



対象者に対して、本プロジェクトでのプラットフォーム形成の目的や「売るために作る」市場志向型農業の意義を説明しました。

説明会参加者からは、市場ニーズに基づいた戦略作りへの意欲や食の安全などの消費者教育の必要性について活発なコメントがありました。

プロジェクトサイトではモモの花が咲き始めていました！この地域では、11月に収穫が始まります。
次回をお楽しみに！